

ネーデルラント美術研究会講演会

フランス/フランドル写本の精華

11月25日（土）関西大学第1学舎3号館 AV-B 教室

14:00-15:30 ハンノ・ウェイスマン氏（フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター (IRHT-CNRS) 教育技術員）[英語発表、逐語訳付]

「王の愛妾のための散文、詩文、画像、アントワネット・ド・メニユレのために製作された15世紀のフランス写本 Prose, poetry and pictures for the King's mistress. A 15th century French manuscript made for Antoinette de Maignelais」



講演者は、2016年5月25日にクリスティーズで販売された、1460年頃に逸名の婦人のために制作された、アレン・シャルティエ Alain Chartier のテキストがあるフランス写本について、その女性がフランス王シャルル7世の愛妾であることを特定しました。特定をめぐる興味深い論考のお話です。

15:50-16:50 今井澄子氏（大阪大谷大学）

ブルゴーニュ公妃マーガレット・オブ・ヨークの祈祷者像

会場 以下の URL の第1学舎3号館5階。建物北側のエレベーターをお使いください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>

連絡先 関西大学文学部芸術学美術史専修 蛭川順子研究室 jnina@kansai-u.ac.jp